

横山家寄贈資料から明らかになった 明治期の尾小屋鉱山 part2

2025年9月13日(土)～11月30日(日)



尾小屋鉱山本山坑口付近（明治42年頃）

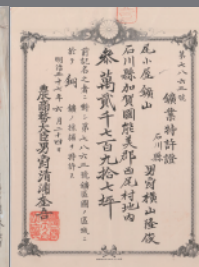


第5871号鉱業特許証、鉱区図証（明治33年）

加賀藩で家老職を務めた8つの名家のひとつ、横山家。明治14年から昭和6年まで尾小屋鉱山を経営し、全国有数の銅山に成長させました。

横山家が開発及び経営した尾小屋鉱山と周辺鉱山及び他県の鉱山に係る官公庁への願書、売買契約書などの文書類、明治期の写真類、横山隆平着用の大礼服などの貴重な資料が、令和3～6年度に横山家より当館に寄贈され、それらにより尾小屋鉱山の様子がより詳しくわかってきました。

昨年に引き続き、明治期の尾小屋鉱山の姿を寄贈資料を中心に紹介します。



第7863号鉱業特許証、鉱区図証（明治37年）

尾小屋鉱山資料館

石川県小松市尾小屋町カ 1-1 電話 / FAX 0761-67-1122

時 間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで） 休館日：水曜日、祝日の翌日
入館料：一般500円、団体400円。高校生以下、障がい者手帳（ミライロID）所持者と付添い1名は無料
石川県子育てプレミアムバスポート、ベネフィット会員ほか各種割引有り



<https://komatsu-museum.jp/ogoya/exhibition/2025/>

尾小屋鉦山は、明治12年(1879)に山岸三郎兵衛らによって採掘が始まり、吉田八百松らを経て同14年(1881)に横山隆平が一切の採掘権・鉦業権を取得してから横山一族が単独で所有し経営した鉦山です。明治20年頃から急激に鉦区を拡大し、同44年(1911)には年間産銅量1千トンを超え、全国有数の優良鉦山に成長し、日本の近代化に少なからぬ貢献をしました。横山隆平家と別家横山隆興家は、尾小屋鉦山のほかに、福井県鉦山、岐阜県平金鉦山、山形県大蔵鉦山など各地の鉦山を経営し、北陸の鉦山王と呼ばれるほどでした。

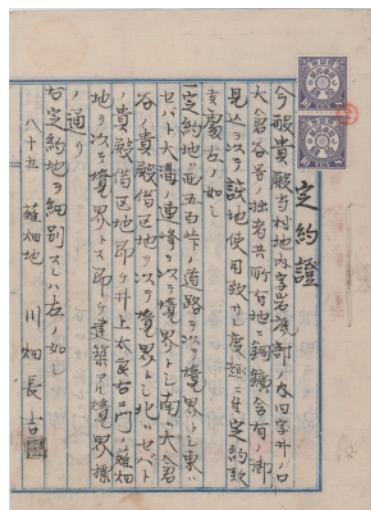
令和3年(2021)から同7年(2025)にかけて、横山本家(16代横山隆昭氏)と横山隆興家別家・横山登家(横山方子氏)より、尾小屋鉦山及び横山鉦業部の発

展の歴史を物語る、許認可関係及び売買や補償に係る文書類、大判写真、写真アルバム、ゆかりの品々など公的なものから私的なものまで含む貴重なコレクションを、当館に寄贈いただきました。これらによりそれまで不明な点の多かった明治時代の尾小屋鉦山の姿が少しずつ明らかになってきました。

この度の展示では、それら新たに寄贈された資料を中心に、明治期の尾小屋鉦山の姿及び中心となった横山家の人々の足跡をご紹介します。



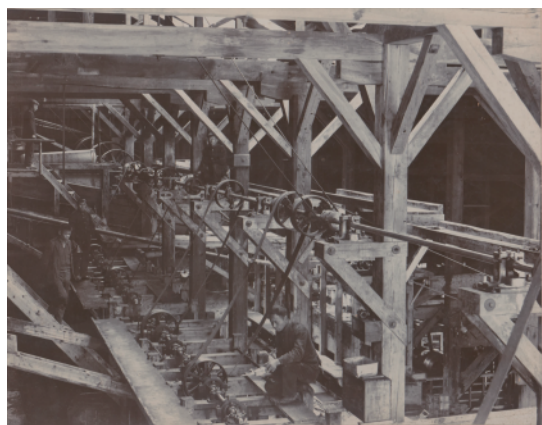
横山隆平肖像(油彩) 早田三四郎・画



補償金定約証(明治24年)



尾小屋鉦山選鉦場外部之景(明治42年頃)



尾小屋鉦山選鉦場内部之景(明治42年頃)



横山隆興



尾小屋鉦山製錬場付近(明治42年頃)



平金鉦山(明治後期)

尾小屋鉦山資料館 (石川県立尾小屋鉦山資料館) 尾小屋マインロード

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 水曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(土日の場合は開館)、冬期(12月1日～翌年3月24日)

入館料 一般500円、団体(20名以上)400円、高校生以下無料。障がい者手帳・ミライロID所持者と付添い1名無料

10/5(日)、11/16(日)は尾小屋鉦山イベントデー <https://komatsu-museum.jp/ogoya/event/2025/>

ギャラリートーク

10月4日、10月18日、
11月15日(いずれも土曜日)

午前10時30分～約1時間
予約不要。集合＝資料館受付

